

# 滋賀県競技力向上基本計画（概要版）

（平成29年度改定）



## 目標

計画を着実に推進するためには、明確な目標の設定が必要であることから、滋賀県競技力向上基本計画の目標を  
 ・第79回国民体育大会において男女総合優勝である天皇杯獲得とします。あわせて、  
 ・第24回全国障害者スポーツ大会に向けた取組を通じた障害者スポーツの普及・競技水準の向上、および障害者の社会参加や障害理解の促進  
 ・平成27年から平成36年までの10年間にオリンピック・パラリンピックなどの国際大会に出場する本県ゆかりの選手55人以上の輩出  
 ・国民体育大会・全国障害者スポーツ大会終了後も本県の競技スポーツの発展に努め、大会を契機に高めた全国トップレベルの競技水準の定着  
 ・障害者アスリートが国際大会などの上位大会を目指せる環境づくりを目標とし、これらの目標達成に向けた種々の取組を通じて、大会後も県民が夢や希望を育み、活力ある元気な滋賀を実感できる、幸福で豊かな共生社会の実現を目指します。

これらの目標達成に向けた取組を通じ、県民が夢や希望を育み、活力ある元気な滋賀を実感できる、幸福で豊かな共生社会の実現を目指します。



## 本県の競技力の主な現状

- 国民体育大会の天皇杯順位  
〔平成25年度 40位、平成26年度 35位、平成27年度 24位、平成28年度 33位〕
- 全国高校総合体育大会 入賞数 22 全国中学校総合体育大会 入賞数 14 〔H28年度〕
- 滋賀県ゆかりのオリンピック・パラリンピック出場者数 リオ：14名



## 段階的目標

開催年	準備期			充実期				躍進期			完成年	継続期	
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年～	
開催まで	10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年	開催後～	
開催県	長崎	和歌山	岩手	愛媛	福井	茨城	鹿児島	三重	栃木	佐賀	滋賀	青森	
オリンピック パラリンピック 開催地	リオデジャネイロ			ピョンチャン				東京			北京		未定

段階的目標	実績値			目標値							
	強化拠点の構築 指導者の確保			アスリートの育成 躍進期の選手育成を支える指導者の確保			アスリートの実力向上 強化スタッフ体制の確立				天皇杯獲得
国体点数	810.5点	940点	888点	1,200点			1,500点	1,600点	1,800点	2,400点	1,200点
国体順位	35位	24位	33位	10位台			10位以内	8位以内	5位以内	優勝	15位以内
全国障害者 スポーツ大会	11種目	10種目	10種目	12種目			13種目	14種目	15種目	23種目	15種目
インターハイ 入賞数	40	27	22	40			50	60	80	100	50

## 選手が伸びる

### 課題

- 優秀な選手が県外に進学する
- 成年選手が競技を継続できない
- 明確な目標が選手に必要
- 女性選手の競技継続が難しい
- 障害者スポーツの選手確保

### 対策・取組

### 選手の育成強化

- ①ジュニア選手の発掘・育成・強化
- ②成年選手の育成・強化・確保
- ③オリンピック・パラリンピック候補選手の活動支援
- ④女性アスリートの育成・強化
- ⑤障害者スポーツの普及・選手の拡大

## 選手を伸ばす

### 課題

- 学校、地域、企業における指導者確保
- 指導者の資質向上
- 組織的な指導体制の構築
- 女性指導者の確保・養成
- 障害者スポーツ指導者の確保・養成

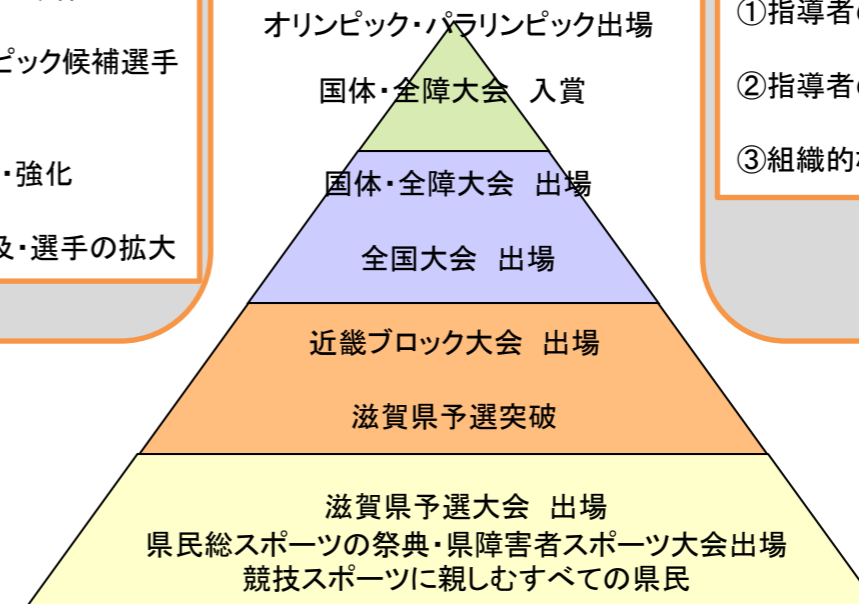
### 対策・取組

### 指導体制の充実

- ①指導者の確保
- ②指導者の養成・資質向上
- ③組織的な競技力向上の推進

滋賀県の  
競技力向上を  
図るには！

## トップアスリート育成



### 課題

- 学校、施設、クラブチーム、地域と連携した強化活動
- 滋賀県の自然環境を活かした競技種目の重点強化
- 選手の競技活動を支える環境の整備が必要
- 県全体で競技選手を応援する機運の醸成
- 障害者スポーツにおける環境の整備

## 選手を支える

### 対策・取組

### 強化拠点の構築・環境の整備

- ①強化拠点の構築
- ②施設の整備・競技用具の充実
- ③医科学サポート体制の整備
- ④選手・指導者の参加体制の整備
- ⑤交流・連携の促進
- ⑥広報を通じた県民の機運醸成

